

団体情報

■ こんな人のために	不登校傾向のお子さんの保護者 または学校の先生
■ こんなことができます	不登校の子どもさんを持つお母さん・お父さん 悩んでいる先生が元気になるために・・・ そして、独りぼっちにならないために・・・ そんな想いでできた会です。 勉強のことも不安、将来も不安・・・ でも誰に相談したらいいのかわからない。 一人で悩まず、同じ経験を持つ親同士、お茶を 飲みながら話してみませんか？



お問い合わせ


■ 電話	下記のメールにご連絡ください
■ メール	motherleaf2015@gmail.com
■ 代表顧問	北野 佳寿子






団体の特色

■ 沿革	2015年3月 不登校傾向の子どもをもつ保護者が、大和郡山市にある学科指導教室「ASU」の支援を受け、サークルとして立ち上げました。奈良県内他郡市の親の会とも連携し、情報交換や研修を行っています。	
■ 活動理念	不登校は子どもにとっては成長するために必要な時間と考えています。しかし、親はいろいろ心配で不安で、でもその気持ちを誰にも相談できず苦しい気持ちで過ごします。そんな親同士がつながり合い、少し先輩の親の意見も聞きながら、一緒に子どもたちを支えていければいいなと考えています。	
■ 活動の特色	<ul style="list-style-type: none"> ① この会で話す個人情報はお互い守りましょう。 ② メンバーは対等な仲間で、階層はありません。 ③ 例会では、お互い体験を語り、お互いに学びましょう。 ④ 話すことは決して批判されません。 ⑤ カウンセラーなど専門家の同席・助言を受けることもあります。 ⑥ 会の活動は、会員によって支えられ、会員の希望を取り入れて運営します。 	
■ 世話人	代表顧問・代表	代表顧問 女性 1名 代表 女性 1名
	事務局	女性 1名 お手伝い1名
■ 現在の利用者 (R4年10月現在)	不登校傾向のお子さんを持つ保護者 「ASU」のスタッフ(不定期参加)、市内小中学校の教員、臨床心理士など教育関係者 イベント フォーラム 30～50名、定例会 15～25名	

支援内容、費用など

<p>■ 定例会</p>	<p>毎月第2土曜日に大和郡山市内の公民館でおしゃべり会をしています。 不登校経験者の大学生や臨床心理士の先生などゲストを招いての研修もしています。 大和郡山市以外からの参加も歓迎です。 気軽にお問い合わせください。 ・参加費：100円（お茶菓子代&事務費） ・持ち物：マイカップ ・先生方を招待したフォーラム（年に1回または2回）・イベント：500円 ※定例会参加ご希望の場合は、メールでご連絡ください。</p> 
<p>■ ランチ会</p>	<p>午前中の定例会の後、ランチを食べながら、リラックスしたムードで子どもものことに限らず、いろいろ話しています。随時開催。 ・参加費：実費</p>
<p>■ メールレター</p>	<p>会員登録してくださった方には、定例会の案内や各種研修会や講演会などの情報をメールでお知らせします。</p>
<p>■ ホームページ</p>	<p>◇https://motherleaf2015.wixsite.com/maza-ri-fu 定例会の案内や活動記録など ◇https://blog.canpan.info/motherleaf/ 各種研修会や講演会情報、事務局からの連絡、母の独り言など</p>

メッセージ

<p>■ マザーリーフとは</p> 	<p>マザーリーフとは、水に浸しておくで2週間くらいで葉のまわりから小さな葉っぱ（芽）がたくさん出てくる不思議な葉です。新たに生えた芽は、切り離されても、また個々に成長していきます。マザーリーフの花言葉は「信じて待つ」。 そんな神秘的で生命力あふれるマザーリーフのパワーをもらいつつ、少しでも気持ちが楽になる、安心できる会をめざしています。</p>
<p>■ 代表より</p> 	<p>子どもがつらいとき、親もとても苦しみます。 子どもが一步踏み出すのにはパワーと、それを貯める時間が必要だと思います。 親も、親の会に連絡するだけでも、とてもパワーが必要だと思います。同じ思いを経験した親や見守ってくれる先生が待っています。 無理をせず、体調等に合わせていつでもご連絡ください。</p>
<p>■ 代表顧問より</p> 	<p>不登校の子は、実はいつも心のどこかで苦しんでいます。ゲームやYouTubeに夢中であるように見えても、常に未来を不安に思い、悩んでいます。 そんな中、家族や周りの人々と関わり合う中で自分自身を見つけます。見つけた子どもたちは、周りに左右されず自分のペースで歩き始めます。子どもたちが、将来自分自身で生きてゆけるように…そして、そんな子どもたちを焦らずゆったり見守れるように、大人たちが話し合える場所でありたいと思っています(^)</p>

